１１月クラフトサークルは毎年のお楽しみ干支づくりでした。
またうまく写真撮れてなくて他のサークル員から写真いただきました。

可愛い猪ですね。
下記は猪になる工程を説明するための作品です。毎年色々考えて教えていただいています。
もう一巡したから終わりと言いながらもお願いしたら考えてくださいました。ありがとうございます。

殻付きピーナッツを芯にしてサークル員が栽培して育てた綿を使って作成しています。
今回の猪は昨年の戌より難しくて苦労している人が多かったように思います。
顔が特に！鼻のあたりや目や耳等、写真見て観察しますが上手くいきません。なんだかネズミに見えたりリスに見えたり、観察力の鋭い人がやはり上手ですね。

他にも綿を使わずに桜の枝を削った猪も作成してきてくださっていました。

綿は種が付いてる綿（右）から、左上の種と左下のように掃除した綿にまず整理します。
右下は白い綿の実ですがほぐした状態が右上の状態です。

下記の写真は綿をほぐしています。竹に紐を張った弓のようなもので綿をほぐすのです。
フワフワになります。
猪はあまりフワフワにしなくても作成できました。

こんな猪を作成してくださった先輩もいました。
左の猪は芯にマツボックリが使われています。この猪の綿は種つきの綿の毛並みをそろえて隙間に差し込んでいます。だから毛並みのふわふわ感がいいですね。瓜坊の芯はメタセコイヤの実です。白い綿も桜の木の耳も鼻も、牙や目は種等を使っています。自然素材でこんなに素敵なものが作れます。

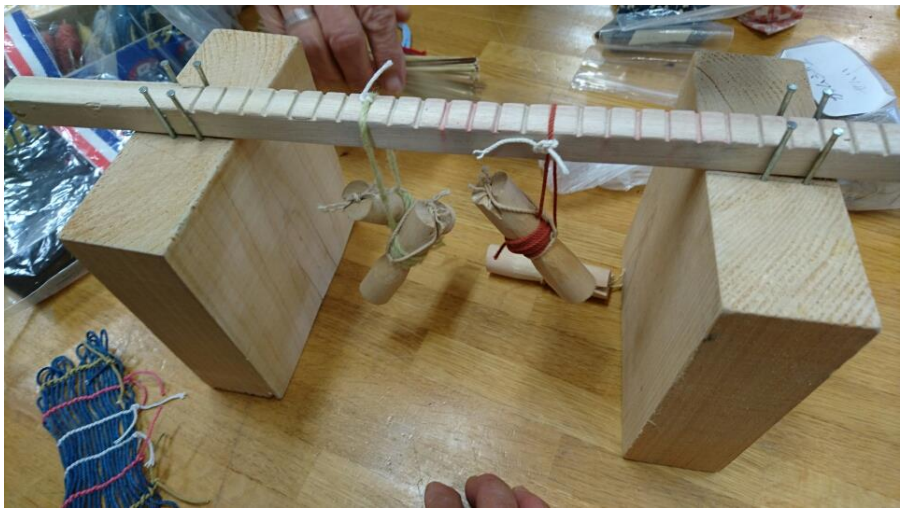
作成途中の皆様の手元です。
中々難しくてこれネズミに見えるとか言いなら和気あいあいと口も動かしての作成です。

いつも他の人と違うものに挑戦する H さん。最後どのようになったかまた写真撮り損ねました。次回に見せてくださーい。今回もそれぞれみなさんの最後の作品の写真が撮れませんでした。すみません。

早く作業を終えたサークル員が、今度明日香小学校の交流授業で使う板をカットしたり、切り口を削って滑らかにしてくれています。明日香小学校の２年生の皆様、２８日お待ちしています。

その時のお土産の一つがこれです。他にも色々サークル員の皆さんが用意してくれています。
まだ足りないのでこれ読んだサークル員の方届けてください。

すみません。ブログでサークル員の皆様にお知らせします。さて２月の定例会でアンギン織に挑戦します。サークル員のＴさんに指導していただきますが、下記のような少ししっかりした土台と
１センチ刻みに筋を入れた棒と糸を巻く糸巻きのようなものを作成してきてください。
糸巻きは少し重みがないと糸を掛けるのに困ると思います。



それから１１月２５日にまるっと飛鳥のイベントで、私たちクラフトサークル員が飛鳥歴史公園のセミナールームで材料を用意して、自然クラフトのお手伝いをします。
ぜひ遊びに来てくださいね。今日の猪の干支づくりもできるかもしれませんよ。他にはドングリのお人形やこのようなカブトムシも作れます。